

山間地で付加価値農業

インドネシア 人材育成支援が本格化

田原のNPOと農家

田原市に在留するインドネシア人農業技能実習生を対象に、現地の農業を担う人材育成支援が本格化した。2019年度からNPO法人渥美半島まちづくり推進機構(通称・ウイズ、渡会一昭理事長)が市内の施設園芸農家と協力し、ジャワ島のバトゥウ市に学んだことを実践する現地農場を開設。今月には実践を終えた初の人材が再来日し、今後数年で技能を向上させ、資金を蓄えて夢の起業に備える。

【加藤広宣】

施設園芸が盛んな田原市には1000人を超え、その後約1年はトレーニング農場で実践に取り組み。さらに、再来日して実習先で数年間働いて資金を蓄えたり、さらなる技能向上を図ったりする。



田原市には多くのインドネシア人が実習に訪れる＝マーゴ農場で

は約3カ月は日本で実習、その後約1年はトレーニング農場で実践に取り組み。さらに、再来日して実習先で数年間働いて資金を蓄えたり、さらなる技能向上を図ったりする。

山間地の風土に合った品種選択や栽培方法が不可欠となり、現地派遣スタッフの直接指導や実習先の恩師によるオンラインでの助言が頼りだ。日本

本で学んだ作物のほか、トウガラシや特産のリンゴに挑戦するなど試行錯誤は続く。10年近くインドネシア人実習生を受け入れるマーゴ(保美町)の青山房生会長は、「今はオンラインでの画像や動画のやり取りで十分対応できる」と話し、教えた方からSNSで報告や相談を受けている。指導方針は「こちらから教えないこと」と青山会長。日本では、作物の育て方や病虫害対策、土壌づくりに必要な有機系肥料の種類を数通り教えただけという。「乾季と雨期がある現地です。知識をどうアレンジするか。複数の仲間とどこに問題があるのかを考える。簡単に正解を教えない」ことで成長を促す。

音楽で豊橋

「弥生町3人娘」

日本を代表する現代作曲家、三善晃さんをしのぶ「ミュージックデイ・イン豊橋」が21、23日、豊橋市向山大池町の市民文化会館で開かれた。

出演は、パーカッションニストの加藤訓子さん、オペラ歌手の峯島望美さん、ピアニストの野畑さおりさん。高校卒業まで



サザンカ接写、表

豊橋で松本

豊橋市南小池町のコーヒーショップ「PULLMAN(プルマン)」で、地元写真愛好家の松本八さんによる恒例の個展「山茶花(サザンカ)の詩」が開かれている。29日まで。

花の多様な表情をマクロで撮り、市内外の個展やグループ展で発表する松本さん。個展では毎回



トレーニングファームで学んだことを実践する実習生(提供)



教え子の報告や相談はSNSでやり取りする

5803

経済重視

ローマの街

ブーティ

見直しだ